

第54回独立行政法人国民生活センター契約監視委員会会議事概要

開催日	令和3年12月23日(木)～令和4年3月23日(水)	
開催方法	書面開催	
委員氏名	委員長 西 貴久雄(独立行政法人国民生活センター監事) 委員 有川 博(日本大学総合科学研究所客員教授) 委員 山内 容(弁護士) 委員 竹内 啓博(公認会計士・税理士) 委員 柏尾 哲哉(独立行政法人国民生活センター監事)	
抽出案件	3件	(備考) ・事務局から、今回の審議対象の契約件数等の書面一式を各委員に郵送にて送付し、報告した。 ・概要として、第2四半期の契約の状況を踏まえ、一者応札・一者応募の契約(事案1、2)、落札率の低い契約(事案3)について審議対象とした旨報告した。
(内訳)		
一般競争入札	3件	
企画競争	0件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	令和3年度第2四半期に契約締結した抽出案件および検証結果の審議内容は、別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回 答
<p>【事案1】 令和3年度および令和4年度教育研修事業に係る研修申込受付に関する業務等 一式（教育研修部）</p> <p>・1者応札となった理由をどのように分析しているか。次回の調達に向けた改善策はどのように検討、整理しているか。</p> <p>・入札公告等においては業務の概要・重要な骨子がわかるようにする工夫が必要。</p>	<p>・仕様書を作成する段階で2者にヒアリングを実施し、実施可能な内容であるとの回答を得ていたが、公告開始後に人員を用意できなくなったとの理由により1者が辞退したため、結果的に1者応札となった。次回の調達においては、3者以上にヒアリングを行いながら準備を進めていく。</p> <p>・資料を取得する前の入札公告等においては、業務の内容を知るのには公告件名以外で正確に把握できるものを設けていなかった。ご意見を踏まえ、以後の調達においては、公告内に正確な業務内容を掲載するようにしていく。</p>
<p>【事案2】 PC-LAN システム用リモート接続環境の構築及び運用・保守等業務 一式（情報管理部）</p> <p>・1者応札となった理由は、どのように分析しているか。</p> <p>・説明会のタイミングが少し早すぎるようにも思われるが、その点の検討が十分であったか。</p>	<p>・複数者の参入が見込める仕様だったが、世界的な半導体不足による納期遵守ができないことによる1者応札となったと分析している。</p> <p>・50日以上の公告期間がある政府調達においては説明会の参加を任意としており、仕様書に対する質問は説明会において受け付けておらず、全て質問書にて提出を求め、回答内容は閲覧にて全事業者が確認できるようにしている。</p>
<p>【事案3】 相模原事務所商品テスト棟直流電源装置更新</p>	

意見・質問	回 答
<p data-bbox="231 208 486 241">工事（総務部管理室）</p> <p data-bbox="231 309 766 443">・結果的に低落札になった理由についてどのように事後評価したか。また、業務遂行に問題ないと判断した理由を何か。</p>	<p data-bbox="798 309 1388 488">・現行装置の販売代理店であり、当法人において20年以上安定稼働した実績を踏まえ、製品の品質およびメーカー代理店としての業務遂行について問題ないと判断した。</p>